医療従事者の負担軽減取り組み

当院では医療従事者の負担軽減のため、下記の項目について取り組みを行っております。

病院勤務医

1. 医師と医療関係職種、医療関係職種と事務職員等における役割分担
(静脈採血等の実施・入院の説明の実施・検査手順の説明の実施・服薬指導・診療予約の実施、他)
2. 勤務計画上、連続当直を行わない勤務体制の実施
3. 育児・介護休業法第23条第1項、同条第3項又は同法第24条の規定による措置を活用した短時間正規雇用医師の活用
4. 医師事務作業補助者の配置

看護職員

1. 看護職員と他職種との業務分担(薬剤師・リハビリ(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)・臨床検査技師・臨床工学技士・MSW・管理栄養士・他)
2. 看護補助者の配置(病棟への看護補助者の夜間配置)
3. 短時間正規雇用の看護職員の活用(多様な勤務形態の導入)
4. 妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮(院内保育・夜間保育の実施・夜勤の減免制度・所定労働時間の短縮・他部署等への配置転換)
5. 夜勤負担軽減(夜勤従事者増員、11時間以上の勤務間隔の確保、各部署の業務量の把握・業務標準化)